

博士課程教育リーディングプログラム ~~中間評価事後評価~~現地調査実施要領（案）平成〇〇年〇月〇日
博士課程教育リーディングプログラム委員会~~I~~ 調査の概要

1. 目的

現地調査は、~~独立行政法人日本学術振興会~~博士課程教育リーディングプログラム委員会類型別審査・評価部会（以下「部会」という。）委員等が当該、必要に応じ、採択プログラムを実施する大学（以下「大学」という。）に赴き、プログラム参加学生（以下「学生」という。）を含む関係者との質疑応答及び教育現場・施設の視察等を行うことにより、当該プログラムの進捗状況における中間評価結果を踏まえた対応や当初の目的の達成に向けた取組の進捗状況等を確認し、評価に資することを目的とする。

2. 実施主体

実施主体は、部会とする。

3. 対象

書面評価結果を踏まえ、部会において現地調査が必要と判断された大学を対象とする。

4. 参加者

~~[調査者実施者]~~

- ・部会委員を中心とする3～4名程度で編成するグループ
- ・プログラムオフィサー（必要に応じて参加）

~~[大学大学]~~

- ・プログラム責任者及びプログラムコーディネーター
- ・プログラムコーディネーター及びプログラム担当者（10名程度まで）
- ・支援対象学生（10名程度まで）
- ・連携先機関、メンター及びインターンシップ受入先機関の担当者等（必要に応じて同席）
- ・修了者の就職先機関の関係者（必要に応じて同席）
- ・学生
- ・（必要に応じて）メンター、当該プログラム事務局職員（必要に応じて同席）

~~5~~ 5. 実施方法

調査者が現地に赴き、実施者は、プログラムより書面評価に基づき事前に示す質問事項を中心に、評価項目に沿ったプログラムの進捗状況の詳細等中間評価結果を踏まえた対応や当初の目的の達成に向けた取組の進捗状況等についての説明を大学より受けるとともに、プログラム担当者等及び学生との意見交換並びに教育現場の視察学生との意見交換及び教育現場・施設等の視察を行う。

~~4~~ 4. 参加者

~~[調査者]~~

~~部会委員を中心とする3～4名程度で編成するグループ~~

~~[大学]~~

- ・プログラム責任者及びプログラムコーディネーター
- ・プログラム担当者（10名程度まで）
- ・支援対象学生（10名程度まで）
- ・連携先機関、インターンシップ受入先の担当者等

~~・(必要に応じて)メンター、当該プログラム事務局職員~~

~~5. 期間~~

~~1日(3時間半程度)~~

~~6. 実施項目及び内容~~

~~① プログラムコーディネーター等からの説明・質疑応答(60分程度)~~

~~調査者は、プログラムコーディネーター等から、事前に提示した質問事項に対する回答を中心に説明を受け、その内容を基に、他のプログラム担当者等を交え、質疑応答を行う。~~

~~② プログラム責任者・プログラムコーディネーターを除いたプログラム担当者等からのヒアリング・質疑応答(30分程度)~~

~~③ 支援対象学生との意見交換(60分程度)~~

~~調査者は、支援対象学生との意見交換により、実際の教育研究活動の状況等を把握する。~~

~~④ 教育現場・施設等の視察(30分程度)~~

~~調査者は、プログラムからの説明を受けながら、教育現場等の視察をし、環境等の調査を行う。~~

~~⑤ その他、調査者が必要と判断する事項~~

~~⑥ 講評~~

~~調査リーダーは、調査終了時に講評する。~~

スケジュール例

	事項	所要時間
13:00~13:30	打合せ(実施者のみ)	30分
13:30~14:30	プログラムコーディネーター等からの説明・質疑応答	60分
14:30~15:00	プログラム担当者等からのヒアリング・質疑応答	30分
15:00~16:00	学生との意見交換	60分
16:00~16:30	教育現場・施設等の視察	30分
16:30~16:45	打合せ(実施者のみ)	15分
16:45~17:00	講評	15分
17:00	終了	-

~~II. 調査実施後 7. 実施後の対応~~

~~1. 調査リーダー① 実施者の部会委員は、現地調査の結果をまとめ、別紙の報告書を作成し、部会に報告する。~~

~~2. ② 部会は、現地調査によっても明らかにならなかった点や、あるいは新たに生じた不明点等がある場合には、必要に応じて大学に対して書面による質疑応答事情聴取を実施する行うことができる。~~

~~III. 現地調査スケジュール(例)~~

~~以下のスケジュールは一例であり、実際は調査内容等により異なる。~~

~~《13時30分~17時が調査時間の場合》 ※各事項には移動時間も含む。~~

	事——項	所要時間
13:00	調査者、現地到着	—
13:00~13:30	打ち合わせ（調査者のみ）	30分
13:30~14:30	プログラムコーディネーター等からの説明・質疑応答	60分
14:30~15:00	プログラム担当者等からのヒアリング・質疑応答	30分
15:00~16:00	支援対象学生との意見交換	60分
16:00~16:30	教育現場・施設等の視察	30分
16:30~16:45	打ち合わせ（調査者のみ）	15分
16:45~17:00	調査リーダーによる講評	15分
17:00	現地調査終了	—

博士課程教育リーディングプログラム 中間評価事後評価現地調査報告書

作成者担当委員：_____

機 関 名		整理番号	
プログラム名称			
プログラム責任者		プログラムコーディネーター	
<p>〔調査者による報告事項及び意見等〕</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>現地調査により、書面評価における事前質問事項等がどのように明らかになったか、プログラム責任者・プログラムコーディネーターへの疑問点と、プログラム担当者への疑問点について点を「『博士課程教育リーディングプログラム』評価要領」における以下の評価項目に沿ってそれぞれ記入してください。</p> <p>(ア) リーダーを養成する学位プログラムの確立についてリーダーを養成するための学位プログラム、体制等の構築</p> <p>(イ) 産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性について修了者の成長とキャリアパスの構築</p> <p>(ウ) グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備について事業の定着・発展</p> <p>〔エ〕 優秀な学生の獲得について</p> <p>〔オ〕 世界に通用する確かな学位の質保証システム</p> <p>〔カ〕 事業の定着・発展</p> <p>【その他の報告事項・特記事項】</p> <p>〔事後評価ヒアリング時の際に確認すべきを要する事項〕</p>			